

研究名：

閉塞性睡眠時無呼吸に対する持続陽圧呼吸療法の現状と問題点の検討

1．研究の目的

小児では閉塞性睡眠時無呼吸は、鼾や無呼吸以外の様々な理由で診断され、内科的治療、扁桃腺/アデノイドの切除が一般的な治療で、持続陽圧呼吸療法の頻度は多くはありません。当院では、基礎疾患があり、そのために閉塞性睡眠時無呼吸を合併している患者さんが多く、持続陽圧呼吸療法は稀ではありません。本研究では、当院における持続陽圧呼吸療法を導入した閉塞性睡眠時無呼吸症例を検討し、持続陽圧呼吸療法の現状と問題点について検討します。

2．研究の方法

研究対象：2014年3月～2023年7月に当院で閉塞性睡眠時無呼吸に対して持続陽圧呼吸療法が導入され患者さん

研究期間：倫理審査委員会承認後～2025年3月31日

研究方法：持続陽圧呼吸療法を導入した閉塞性睡眠時無呼吸の患者さんの、持続陽圧呼吸療法導入前後の臨床経過を検討します。電子診療録を使って後方視的に研究を行います。

3．研究に用いる情報の種類

利用する医療情報としては、持続陽圧呼吸療法導入時の年齢、性別、基礎疾患の有無、導入理由、治療の継続性、中止理由、複数診療科の関与、持続陽圧呼吸療法以外の呼吸管理の有無、外科的治療介入の有無、持続陽圧呼吸療法使用期間、治療中断の有無、関わった診療科の有無と診療科等です。

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、**個人情報は保守**されます。

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5 . 研究実施機関

国立成育医療研究センター

6 . お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2023年12月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 総合診療部 中村 知夫
住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1
電話：03-3416-0181（内線：7059）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 総合診療部 中村 知夫